

3.3 目標像 III

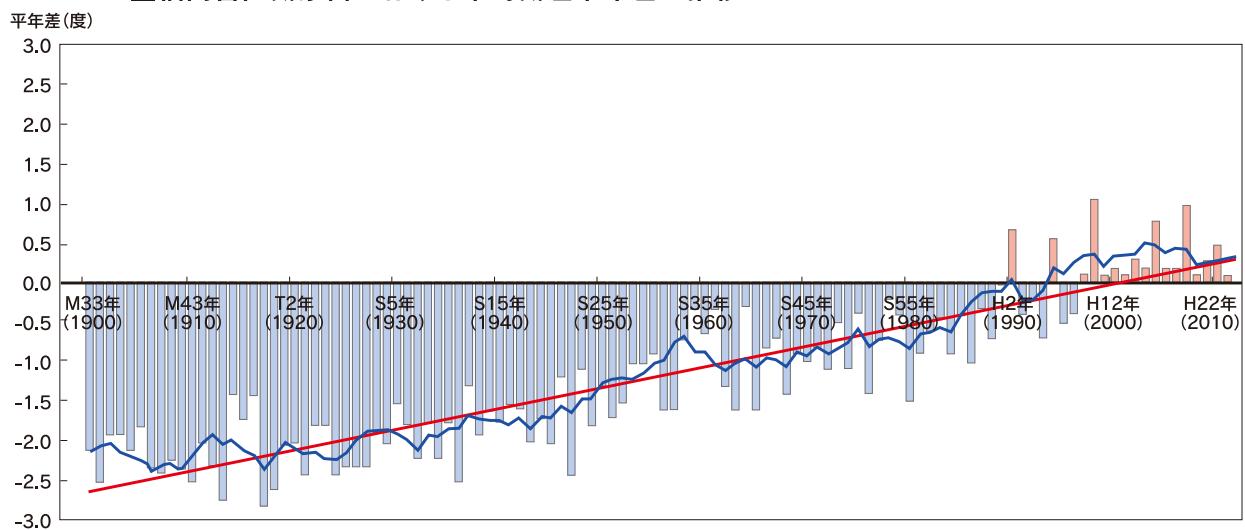
環境にやさしい交通

地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減に向け、過度な自動車利用から環境にやさしい鉄道やバスなどの公共交通への利用転換や自転車の適正な利用を促進するとともに、徒歩で移動しやすい交通環境づくりや道路交通の円滑化、次世代自動車の普及促進などを図ることにより、環境負荷の少ない持続可能な都市を支える交通をめざします。

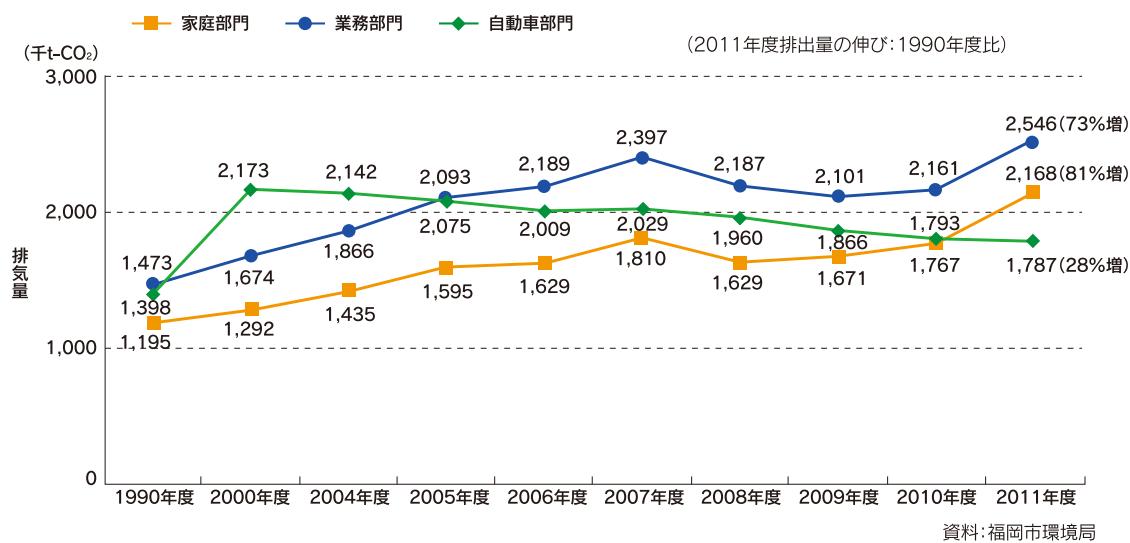
(1) 交通を取り巻く現状と課題

- 世界的に地球温暖化が進行するなか、福岡においても気温の上昇が観測されています。また、二酸化炭素排出量は基準年度（1990年度）と比べて増加しており、排出削減に向けた取組みが重要です。

■福岡管区気象台における平均気温平年差の推移

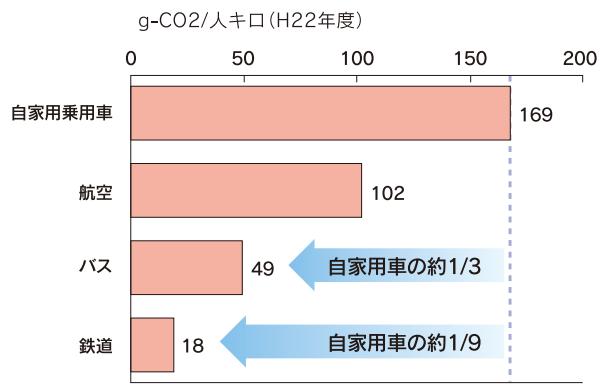


■福岡市における部門別の二酸化炭素排出量



- 二酸化炭素排出量が比較的少ない公共交通利用者の推移は横ばいである一方で、自動車利用割合は増加しており、公共交通への利用転換促進とあわせ自動車単体の二酸化炭素排出量削減も必要です。

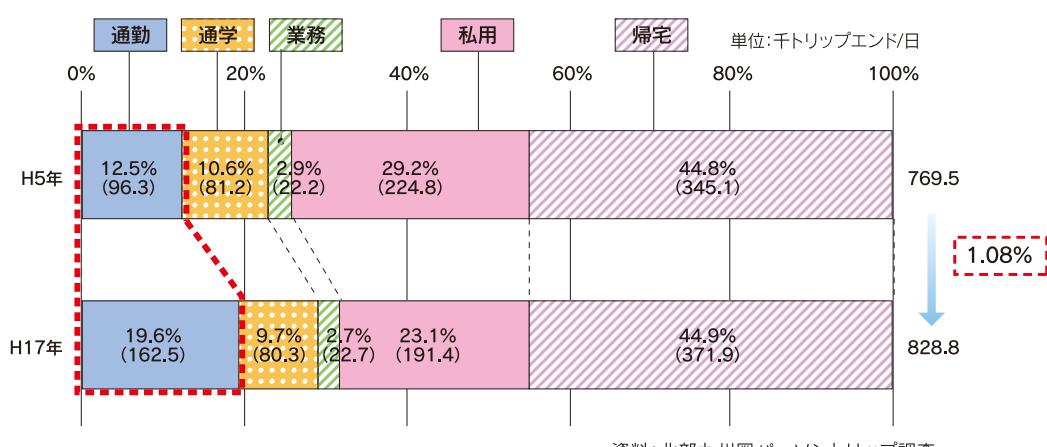
■輸送量当りの二酸化炭素排出量(旅客)



資料:国土交通省

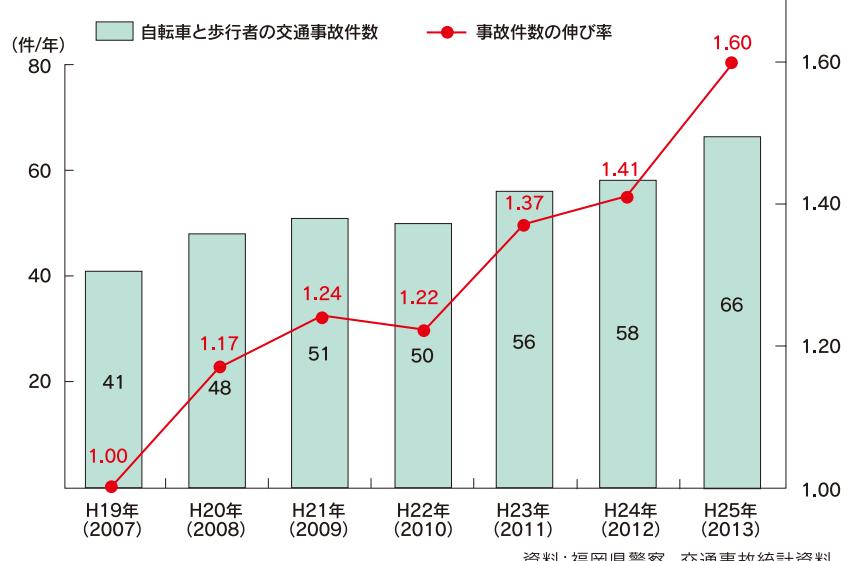
- 自転車利用数は増加しており、特に通勤目的での利用が増加しています。一方で、歩行者と自転車の事故も増加しており、自転車通行空間の確保や交通ルールの遵守、自転車交通マナーの向上などが必要です。

■福岡市における自転車の発生集中量



資料:北部九州圏パーソントリップ調査

■福岡市における自転車と歩行者の交通事故発生件数



資料:福岡県警察 交通事故統計資料

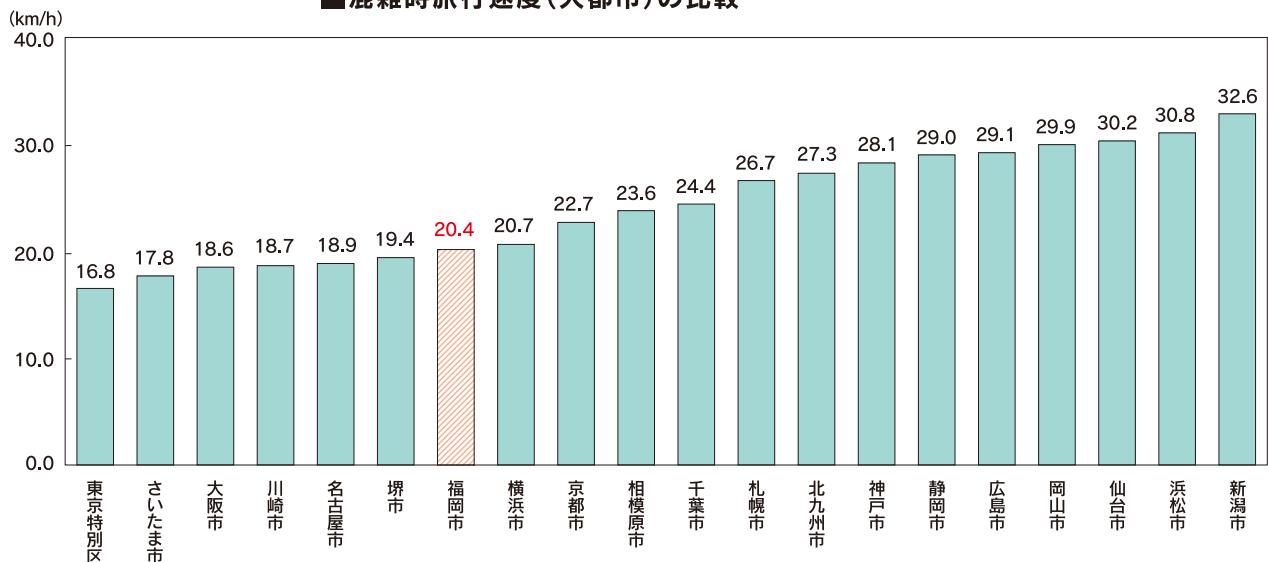
第3章 各目標像と施策の基本的な方針

- ・都市計画道路の整備が進み、混雑時旅行速度は向上したものの、他都市と比較すると低くなっています。
- ・走行速度の向上が二酸化炭素排出量の抑制につながることから、更なる道路交通の円滑化が必要です。

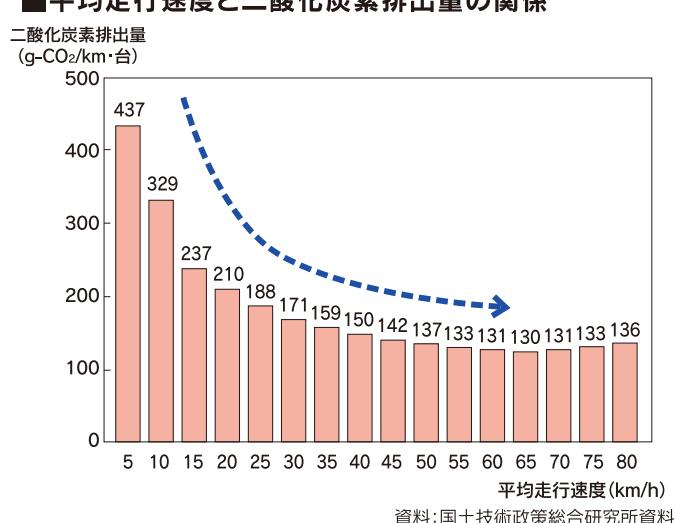
■福岡市の都市計画道路整備延長と混雑時旅行速度の変化



■混雑時旅行速度(大都市)の比較



■平均走行速度と二酸化炭素排出量の関係



(2) 施策の基本的な方針

交通を取り巻く現状と課題を踏まえつつ、目標像を実現するために、取り組む施策の基本的な方針と主な施策を示します。

方針6 環境にやさしい公共交通の利用促進

交通事業者と行政が連携し、公共交通の利便性向上を図るとともに、過度に自動車に依存しない方向へと、市民・企業が自発的に行動を転換することを促す取組みを推進します。

《主な施策》

- 公共交通の利便性向上と利用促進【再掲】
- 交通体系づくりの戦略的な取組み【再掲】

方針7 自転車、徒歩で移動しやすい交通環境づくり

自転車利用の安全性・利便性を高めるため、既存の道路空間を活用した自転車通行空間の確保や駐輪場の整備を推進するとともに、自転車の安全利用に関する条例に基づき、交通ルールの遵守や自転車交通マナーの向上など、自転車の適正な利用を促進します。また、安全に安心して歩ける歩行空間整備等を進めます。

《主な施策》

- 自転車利用環境の向上
 - ・自転車通行空間の確保
 - ・使いやすい駐輪場の確保
 - ・歩道上における放置自転車の撤去と街頭指導の強化
 - ・自転車の交通ルール遵守・マナー向上の取組みの推進
- 歩行者の視点に立った安全・安心な道路整備【再掲】

■自転車通行空間の確保事例



■押し歩き推進区間



方針8 環境に配慮した道路交通施策の推進

放射環状型の幹線道路の整備や鉄道高架化など道路交通の円滑化を進め環境負荷の軽減を図るとともに、電気自動車などの環境に配慮した次世代自動車の普及促進を図ります。

《主な施策》

○道路交通の円滑化

- ・放射環状型の幹線道路の整備【再掲】
- ・西鉄天神大牟田線連続立体交差事業(雑餉隈駅付近)の推進
- ・西鉄天神大牟田線、JR鹿児島本線における鉄道高架化の検討〈長期的検討課題〉 など

○環境に配慮した自動車の普及促進

- ・電気や燃料電池等を活用した次世代自動車・バスの普及促進
- ・エコドライブ(アイドリングストップ、エンジンブレーキの使用等)の普及促進 など

■連続立体交差事業のイメージ



■電気自動車



